

今回も保育
あり。

第20回「口から食べたい」講演会のご案内

メインテーマ 「口から食べたい」の原点に戻る

伊予歯科医師会 会長 稲田 雅仁
松 前 町 町長 岡本 靖

謹啓

新涼の候、貴下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、伊予歯科医師会では、来る10月16日(日)に恒例の第20回「口から食べたい」講演会を開催いたしますのでご案内申し上げます。

今回のテーマは「口から食べたい」の原点に戻るです。さまざまな障がいで口から食べることが困難になった人の「口から食べたい」という思いにどう応え、どう支えるかをテーマにこの勉強会は始まりました。病院から施設や在宅へのシームレスな連携が叫ばれ、また昨今では在宅ケアを中心に据えた地域包括ケアが提唱されています。伊予歯科医師会でも伊予地区在宅歯科医療連携室を開設し、様々な状況への対応に備えているところです(伊予歯科医師会ホームページ参照)。

20回目を節目に、「口から食べる」という、人の生きる根源と尊厳に密接に関わる生活行為を原点に戻って見つめ直したいと思えます。

講演一人目は、豊橋市で介護事業所「ナーシングホーム気の里」を運営され、第8回で講師を務められた田中靖代先生です。先生はナースとして急性期病院時代に摂食嚥下リハビリテーションのパイオニアとして大活躍され、その豊かな経験を活かして新たな工夫を重ねながら、在宅での人生をまっとうできるように、個別対応のおもてなしをされています。きっと斬新で人間性あふれる対応に目を開かれることでしょう。

二人目は、札幌市立大学で老年看護を教えられている村松真澄先生です。先生は病院勤務の一方で早くから口腔ケアの重要性に着目され、フィールドでの実践や啓発活動に奔走されてきました。現場で分かりやすい口腔ケアの指標や、誰もが自分でチェックできる簡便な方法をお教えてください。きっと口腔ケアの垣根を低くしてくださることでしょう。

三人目は、当講演会の第2回、第7回の講師を務められ、ご縁が深く、第20回の節目にふさわしい、歯科医師の加藤武彦先生です。在宅訪問のパイオニアとして著名な先生は、義歯のテクニックだけでなく暖かいハートで周りの皆を包み込み、多くの脳血管障害や認知症の方を救ってこられました。「全国訪問歯科研究会(加藤塾)」主宰して介護における歯科と他職種や地域とのネットワーク作りに奔走されています。口からしっかり咀嚼して食べる意義をご自身の歩んでこられた歯科医人生と照らし合わせながら、情熱的に語ってくださることでしょう。

今回も多数の関係者の方々のご参加をお待ちしております。

敬白

第20回「口から食べたい」講演会申し込みのご案内

メインテーマ 「口から食べたい」の原点に戻る

日時：平成28年10月16日(日) 9:30-16:00 9:00開場・受付開始です。

会場：松前町総合文化センター（松前町役場東隣 TEL089-985-1313）

問い合わせ先TEL：089-984-0005(升田歯科)

演題1 口腔機能を引き出す食事の形態とスプーンテクニック (9:45~11:05)

講師：ナーシングホーム「気の里」施設長 田中 靖代 先生

演題2 高齢社会を乗り越えるために

日本版OAG（口腔アセスメントガイド）を使って連携しよう (11:10~12:30)

講師：札幌市立大学 看護学部 村松 真澄 先生

昼休み (12:30~13:45)

演題3 健康寿命延伸の為に歯科医療～オラルフレイルと介護予防～ (13:45~15:05)

講師：横浜市開業 歯科医師 加藤 武彦 先生

ディスカッション (15:10~16:00)

受講料：1,000円（当日受付の場合1,500円）

*昼食は各自でご用意してください。エミフルまで歩いていただけます。講演会専用駐車場はありませんが隣のエミフルMASAKIに講演会参加での駐車は了解済みです。

主催：伊予歯科医師会、松前町

共催：日本老年歯科医学会愛媛支部

後援：愛媛県、愛媛県社会福祉協議会、松前町社会福祉協議会、愛媛県歯科医師会、愛媛県歯科衛生士会、愛媛県看護協会、愛媛県老人福祉施設協議会、愛媛県理学療法士会、愛媛県作業療法士会、愛媛県言語聴覚士会、愛媛県社会福祉士会、愛媛県医療ソーシャルワーカー協会、愛媛県介護福祉士会（以上、後援申請中）

申し込み方法

別紙の申込用紙に振替領収書を添付し、FAXにてお申し込み下さい。

振込先：郵便振替 01600-1-12261 「口から食べたい」実行委員会 宛

受講料を上記口座にお振込みの上、振替領収書（または写し）を貼付したFAX申し込み専用紙にて、住所・氏名・職業・電話番号等を明記して下記までお申し込み下さい。

申し込み先FAX：089-984-0195 問い合わせ先 TEL：089-984-0005(升田歯科) 定員：699

名（申し込み順）

申込締切：9月30日（定員オーバーの際はお断りすることがあります）

なお、お申し込みが揃った段階で受講票を発送します。住所は間違いなく記載してください。同じ所属で複数でお申し込みの際は、住所は勤務先に統一して下さい。受講票の発送は締切以降です。

保育（無料）の申し込み：松前町ファミリーサポートセンターに委託しております。対象は6ヶ月から小学校3年生まで。申し込み締め切りは9月30日まででお願いします。保育希望の方は、申し込み時に年齢・名前・携帯番号・注意など別紙に記入して頂き、別にFAXしてください。後日、当方より連絡させていただきます。

講師略歴

田中靖代 (たなか やすよ)

1972年 豊橋市立看護専門学校卒業後、豊橋市民病院へ入職、約30年間臨床看護に携わった。

2001年12月介護保険事業所「ナーシングホーム気の里」を創設、通所介護、短期入所などで病院のつづきの看護を展開している。

その間、1985年3月に愛知大学法経学部経済学科卒業、

2012年3月 浜松医科大学大学院医学系研究科(地域看護学修士課程)を修了した。

2015年6月看護・小規模多機能サービスを開設、医療を必要とする人も人生の終焉を在宅で過ごせるような活動を目指している。

主な活動は

2000年 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 評議員

2009年日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士

主な書籍・文献

総説 嚥下訓練 障害の捉え方と看護援助の方法 p10~24 臨床看護研究の進歩 1991

著書 「食べるって楽しい!看護と介護のための摂食・嚥下リハビリ」2000 看護協会出版

共著 老年看護学講座 「食事」「摂食・嚥下障害」2011 南江堂

共著 基礎看護技術II 「摂食嚥下障害」7刷 2016 医学書院

看護技術60(6) 食べることに繋げる口腔ケア 2014 メヂカルフレンド社

共著 うつ伏せ療法 2016 看護協会出版会など

村松真澄 (むらまつ ますみ)

1981年3月北海道大学医学部附属看護学校卒業。

1999年3月北海学園大学法学部法律学科卒業。

2008年3月北海道大学大学院歯学研究科高齢者歯科学教室博士課程修了。博士(歯学)取得。

【職歴】

北海道大学医学部附属病院看護部、医療法人愛全会愛全病院看護部、北海道大学歯学部附属病院看護部、地域支援医療部兼務、北海道大学病院看護部勤務、2007年4月札幌市立大学看護学部 講師、2012年4月同大学准教授、現在に至る。

【学会等】日本老年看護学会評議員、日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員、日本口腔ケア学会評議員等

【地域貢献活動】

日本口腔看護研究会副代表世話人、のみこみ安心ネット札幌世話人、北海道口腔ケア研究会世話人、上川中部地域歯科保健推進協議会・旭川口腔ケア普及会幹事、等

【著書】

多職種共働チーム先制医療での口腔ケア Q&A.50 共著 一世出版社 2016年3月、積雪寒冷地における高齢者の居場所づくり 共著 ワールドプランニング社、2014年3月、一歩進んだ口腔ケア 共著 金芳堂 2010年8月

加藤武彦 (かとう たけひこ)

昭和36年東京歯科大学卒業。昭和39年横浜市で開業。現在に至る。

全国訪問歯科研究会(加藤塾)主催。NPO法人在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク歯科部会理事

著書:治療用義歯を応用した総義歯臨床 いま総義歯に求められるもの 医歯薬出版 2002、食べられる口を作る 口腔ケア&義歯 医歯薬出版 2007、総義歯難症例への対応 その理論と実際—ニュートラルゾーン理論によるデンチャースペース義歯 他

FAX 申し込み専用紙 **FAX 番号：089-984-0195** 保育希望の方は詳細について別に FAX してください。

第20回「口から食べたい」講演会に申し込みます。(楷書で濃く記載してください。複数の場合連絡責任者に大きく○印を付けてください)

氏名	勤務先・職種	連絡先 TEL	受講票発送先住所
ふりがな	勤務先	職場・自宅・携帯 ○で囲んでください	〒 (自宅・職場)
	職種 看護職、介護職、DH、 ケアマネ、その他 ()	TEL	
ふりがな	勤務先	職場・自宅・携帯 ○で囲んでください	〒 (自宅・職場)
	職種 看護職、介護職、DH、 ケアマネ、その他 ()	TEL	
ふりがな	勤務先	職場・自宅・携帯 ○で囲んでください	〒 (自宅・職場)
	職種 看護職、介護職、DH、 ケアマネ、その他 ()	TEL	
ふりがな	勤務先	職場・自宅・携帯 ○で囲んでください	〒 (自宅・職場)
	職種 看護職、介護職、DH、 ケアマネ、その他 ()	TEL	
ふりがな	勤務先	職場・自宅・携帯 ○で囲んでください	〒 (自宅・職場)
	職種 看護職、介護職、DH、 ケアマネ、その他 ()	TEL	
質問記入欄 口腔ケアについて現場で困っていることを具体的に質問して下さい。			

ここに振替領収書(または写し)を貼付して下さい。
申し込み人数が多い場合はこの用紙をコピーしてください